

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】 / (分野)		授業形式						
E142K020		球技（ベースボール型） (Ball game (Baseball type))							対面						
必修選択		単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態					
選択		1	3	教育学部		木5	日本語			単独					
担当教員	氏名 谷口勇一														
	E-mail tyuichi@oita-u.ac.jp 内線 7628														
授業の概要	近年、小学校および中学校において実施事例が増加しつつある「球技（ベースボール型）」を通して、野球、ソフトボールという教材の魅力を理解しつつ、男女共修に向けた具体的授業実践の方法等を理解する。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	
目標1	ベースボール型教材のルールを理解する							○	○						
目標2	男女共修によるベースボール型授業の考え方を理解する							○	○						
目標3															
目標4															
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度 (計10)								5	5						
授業の内容															
1	オリエンテーション（ベースボール型なる球技科目が存在する理由）														
2	キャッチボールの方法と指導法														
3	打法の理解①														
4	打法の理解②														
5	打法の理解③														
6	守備の理解（内野手）														
7	守備の理解（外野手）														
8	投球の科学（野球編）														
9	投球の科学（ソフトボール）														
10	ゲーム運営の方法理解														
11	ゲームの実践①														
12	ゲームの実践②														
13	審判の方法論理解														
14	高度な戦術理解														
15	まとめ（男女共修にもとづく楽しいゲーム実践に向けて）														
ラーニング目標	A:知識の定着・確認	○	特にゲームの実践においては、獲得し得た知識をもとに男女共修のベースボール型授業のあり方を中心に相互理解を高めるようにする。				工夫	その他の	ゲーム運営のための審判法、さらには、守備技術向上に向けたノックの方法についても理解を深める。						
	B:意見の表現・交換														
	C:応用志向	○													
	D:知識の活用・創造														
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修	当該授業に向けた調べもの学習を課す（30H）。													
	事後学修	当該授業終了後には感想コメントを記述させる（15H）。													
	想定時間合計	45													
教科書	特になし														
参考書	特になし（適宜参考資料を配布する）														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	期末試験（技術テスト）		70%	○	○								
	事後学習（コメント）内容		30%	○									
注意事項	特になし												
備考	ベースボール型の男女共修を意図している関係上、女子学生の積極的履修を期待する。												
リンク													
	URL												